



**シラバス参照**

タイトル「**2015年度 教養科目シラバス**」、フォルダ「**2015年度 教養科目シラバス-2015年度「教養の森」科目群【科目群5】**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	歴史学		
担当教員	<a href="#">小原 淳</a>		
対象学年		クラス	
講義室		開講学期	後期
曜日・時限	金 3	単位区分	
授業形態	講義	単位数	2
準備事項			
備考	全学部・全学年		
科目名（英語表記）	History		
授業の概要・ねらい	<p>高校までの歴史の授業で、膨大な知識の暗記に追われ、苦手意識をもっている人もいるだろう。あるいは、テレビ番組や小説をつうじて歴史に関心はあるが、より深く歴史を学ぶ術がわからない人もいるだろう。</p> <p>本授業は、大学での歴史研究がどのようなものであるかを知る、過去を知ることと現代についての理解を深めるための方法を考える。毎回の授業では、西洋史、東洋史、日本史といったジャンルを問わず、先史時代から現代にいたるまでの人類史をなるべく幅広く扱いつつ、歴史学の基礎を学ぶ。受講者は、予備知識は求められないが、多様なテーマに関心を持ち、自分の研究対象や自分が生きている社会と歴史学の関係を真剣に考察する態度が必要である。</p>		
授業計画	回	内容	
	1	はじめに：大学での歴史学とは？	
	2	ヒトがヒトになった時	
	3	文明の誕生	
	4	遊牧と農耕	
	5	東西世界の交流	
	6	時の世界史	
	7	地図が語る歴史	
	8	身近な歴史を読み解く	
	9	世界史のなかの和歌山	
	10	人口の歴史学	
	11	モノの世界史	
	12	図像から考える歴史	
	13	音楽から考える歴史	
	14	環境の歴史	
	15	まとめ	

到達目標	歴史に関心を持ち、現代を知るために、基本的な事実と流れについて史料批判にもとづき理解する姿勢をもっているかを点検する。また個別テーマについて自分から発展的に学習することができるかを問う。
成績評価の方法	出席30%、レポート30%、定期期試40%。
教科書	高校世界史の教科書を持参することが望ましい。
参考書・参考文献	適宜、授業で紹介する。
履修上の注意・メッセージ	欠席が3分1以上の場合は単位を認定しない。毎回の授業で、感想文等の提出を求める。 毎回の授業で、受講者に発言や討議を求める。授業に真剣に取り組むこと。 復習・予習について。講義で紹介、推薦した図書類について学習すること。
履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	
授業時間外学習についての指示	本授業の授業計画に沿って、準備学習と復習を行うこと。さらに、授業内容に関連する課題に関する調査・考察を含めて、毎回の授業ごとに自主的学習を求める。
その他連絡事項	

